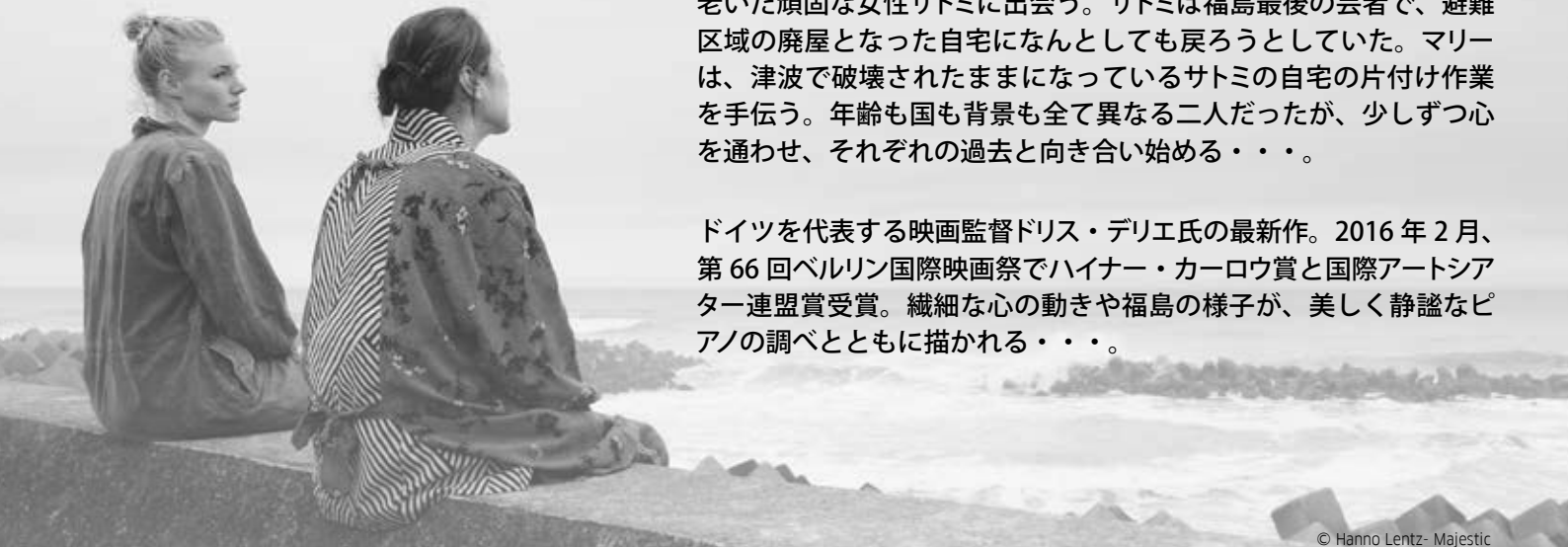


『喪失』から『再生』へ。  
いま福島を舞台に、ドイツと日本の女性が共に歩み出す・・・。

## フクシマ・モナムール

若きドイツ人女性マリーは、深い心の傷を抱えて、逃げるように日本にやってきた。マリーは慈善団体の一員として福島の仮設住宅を慰問訪問するが、すぐに自分はこの仕事に適していないと気づく。またも現実から逃げ出そうとするマリーだが、仮設住宅に暮らす年老いた頑固な女性サトミに出会う。サトミは福島最後の芸者で、避難区域の廃屋となった自宅になんとしても戻ろうとしていた。マリーは、津波で破壊されたままになっているサトミの自宅の片付け作業を手伝う。年齢も国も背景も全て異なる二人だったが、少しずつ心を通わせ、それぞれの過去と向き合い始める・・・。

ドイツを代表する映画監督ドリス・デリエ氏の最新作。2016年2月、第66回ベルリン国際映画祭でハイナー・カーロウ賞と国際アートシアター連盟賞受賞。繊細な心の動きや福島の様子が、美しく静謐なピアノの調べとともに描かれる・・・。



© Hanno Lentz - Majestic



### ドリス・デリエ (監督・脚本) Doris Dörrie

ドイツの映画監督、作家、オペラ演出家。アメリカで映画や演技を勉強した後、ミュンヘン・テレビ映画大学に学ぶ。1985年に発表した映画『Men』で世界的な注目を集め、以降、『アム・アイ・ビューティフル?』、『Nackt』、『犯罪(幸運)』など多くの作品を発表。ベルリン国際映画祭やヴェネツィア国際映画祭などで高い評価を受けた。また、小説『あたし、きれい?』、『サンサーラ』、ドイツ書籍賞を受賞した『Das Blaue Kleid』など文学作品や児童書の執筆の他、オペラ演出も数多く手がけ、ドイツを代表する芸術家として世界各地で活躍。1997年以降、母校ミュンヘン・テレビ映画大学教授としてクリエイティブ・ライティング/映画台本の教鞭を執る。長編デビュー作『心の中で』の日本上映で1985年に初来日して以来、度々日本を訪れ、映画『MON-ZEN』、『漁師と妻』、『HANAMI』、『フクシマ・モナムール』など、日本を扱った作品も多い。2013年9月～12月ヴィラ鴨川に滞在。



### ウルリケ・ハーゲ (映画音楽) Ulrike Haage

ベルリン在住の作曲家、ジャズピアニスト、サウンドアーティスト、ラジオドラマ脚本家。一世を風靡したドイツのバンド「Reichlich Weiblich」や「Rainbirds」で活躍した他、ヨーロッパ各地の劇場に出演。アルフレッド・ハルト、フィル・ミントンなどの音楽家とジャンルを越えた実験的な試みを行う。ポップミュージック、美術、アヴァンギャルトなどの枠を越えた活動に対し、2003年ドイツ・ジャズ賞を受賞。ソロアルバム『Sélavy』(2004)、『Weißes Land』(2006年)、『In.finitum』(2011)等をリリースした。2012年9月～12月ヴィラ鴨川に滞在。滞在中、松尾芭蕉などの影響を受けて、音楽家エリック・シェーファーと『For All My Walking』を作曲し、2014年にCDリリースした。  
公式サイト [www.ulrikehaage.com](http://www.ulrikehaage.com)

上映後、ドリス・デリエ監督と作曲家ウルリケ・ハーゲ氏の舞台挨拶を行います。(日独同時通訳付)

監督・脚本：ドリス・デリエ  
撮影：ハンノ・レンツ  
編集：フランク・ミュラー  
音楽：ウルリケ・ハーゲ

Doris Dörrie  
Hanno Lentz  
Frank Müller  
Ulrike Haage

キャスト：ロザリー・トーマス (マリー) Rosalie Thomass  
桃井 かおり (サトミ) Kaori Momoi  
鎌田 菜美 (ナミ) Nami Kamata  
モシェ・コーヘン (モシェ) Moshe Cohen  
早坂 本勝 (住職) Honsho Hayasaka  
菜乃佳 (ユキ) Nanoka  
入月 絢 (トシコ) Aya Irizuki

原題：Grüße aus Fukushima  
ドイツ、2016年、104分、白黒  
音声：英語・ドイツ語・日本語  
日本語字幕付

ウルリケ・ハーゲ氏出演のコンサート開催決定！  
2016年10月22日(土) 19:00～  
会場：ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川  
詳細は、後日HP等で発表。

#### 交通のご案内

京阪電車 出町柳駅より 南へ徒歩8分  
京阪電車 神宮丸太町駅より 北へ徒歩6分



#### 主催・お問い合わせ

Goethe-Institut Villa Kamogawa  
京都市左京区吉田河原町 19-3  
(川端通り荒神橋上る)  
TEL: 075-761-2188 (内線 31#)  
info@villa-kamogawa.goethe.org  
www.goethe.de/villa-kamogawa



館内のドイツカフェ『カフェ・ミュラー』も、ドイツビールや軽食などをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。